



こむこむ 2007年秋号

発行: 筑波大学OB・OG愛好会 編集: 小泉成行(自然98年入学) 2007年10月20日発行

世界選手権予選通過ならず、MTB-O世界選手権は多田が初陣

8月6～11日にチェコで開催されたMTB-O世界選手権に多田宗弘選手(情報93年)が、また8月18～26日にウクライナで開催された世界オリエンテーリング選手権大会日本代表に渡辺円香選手(比文94年)と小泉成行選手(自然98年)が出場しました。各選手からコメントをいただきました。



多田宗弘さん

多田@情報93です。32歳(現地で33歳になった)で初の海外遠征でした。ご支援ありがとうございました。

前半戦は海外テイインに対応できず、苦戦が続きました。ロングB決勝とリレーの頃になってようやく対応できるようになり、ある程度の内容のレースをすることは出来ました。ただ、それでも自分が思い描くベストレースにはほど遠い内容でした。チームとしては、堀江くん(東北OB)がロング予選通過まであと1秒、男子リレーでプービー圏内脱出、と、昨年よりは良い結果が得られたようです。個人的には全然満足していませんが...

実際に走ってみて、世界との差を感じました。ただオリエンテーリングの技術の差はほとんど感じる事が無く(むしろ自分より下手くそな奴が多い)、単純に自転車の馬力の差が大きい、と感じました。なので、壁自体はフットOよりも低い、という印象を受けました。競技自体の歴史が浅く(まだ5回目の世界選手権)、世界トップレベルの選手でもまだ洗練されていないからではないか、と思います。

もっと地力を付けて、来年以降再び挑戦したいと思います。応援、どうもありがとうございました。

ウクライナ世界選手権大会を終えて

遠征にあたり、多方面よりご支援、ご声援賜りましてありがとうございました。初めての世界選手権では、スプリント、ロング、ミドルの3種目を走りました。結果はすべて予選敗退となりました。内容的にも自分の予想以上に結果が悪く、いたたまれない思いがあります。これまでの経験、トレーニングがあまり生かされませんでした。大舞台で精一杯の実力を出すことは本当に難しい、実力を出し切れることも実力なのだ和世界陸上などみても痛感します。とはいえ失敗は何よりの業です。ここで止まるわけにはいかない、得体の知れない魅力にとりつかれているのです。人生の目標でもあるのです。前向きにまた精進していきます。



渡辺(Kogure)円香さん



小泉成行さん

世界選手権2007ご報告

ウクライナの世界選手権に参加してまいりました、小泉です。私はスプリントとミドルを走りました。結果から言いますと、スプリント・ミドルとも予選落ちという、無残な結果に終わってしまいました。

今年は予選通過にかなりの自信をもって臨みました。国内のレースではなかなか結果が出せませんでした。そのくらいの状態でも自力が上がっているで大丈夫と思っていましたが、結果はこれまでで最も悪いものでした。

世界がそこまで急速に速くなったわけではありません。私の力不足でした。今年はオリエンテーリングを封印し、足を速くするトレーニングに重点を置きました。しかし結果としては、走る量に囚われ過ぎてしまい、スピードそのものを上げることが十分ではなかったことが今回の結果に結びついているように思います。

あと15%のスピードアップ。ランニングとナビゲーションの両方のスピードを上げることが求められます。今回の失敗はしかし、長期的に見れば基礎体力の向上につながっています。その下地にスピードを上乗せして大きな目標である来年の世界選手権に挑戦したいです。

最後になりましたが、援助金をご支援いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

草々

2007年世界選手権の結果

SPRINT予選

Woen B

01 Heli Jukkola FIN 00:11:52
15 Sandra Zurcher USA 00:14:27
22 Madoka Kogure JPN 00:16:50

Men C

01 Thierry Gueorgiou FRA 00:12:15
15 Raul Martin ESP 00:13:50
29 Shigeyuki Koizumi JPN 00:15:03

LONG予選

Women C

01 A.M. Hausken NOR 00:47:52
15 Christiane Trobe GER 01:03:42
23 Madoka Kogure JPN 01:19:46

(15位まで決勝進出)

MIDDLE予選

Women C

01 Helena Jansson SWE 00:26:28
15 A.G-Antonowicz POL 00:34:51
27 Madoka Kogure JPN 01:08:15

Men B

01 Thierry Gueorgiou FRA 00:26:02
15 Andreas Kraas EST 00:31:06
29 Shigeyuki Koizumi JPN 00:39:28

2007年MTB-O世界選手権の結果

Sprint Men

01 GASBJERG Torbjoern DEN 15.05
15 TADA Munehiro JPN 20.36

Long予選 Men B

01 GASBJERG Torbjoern DEN 58:58
20 RORA Sebastien FRA 72:58
(ここまで予選通過)
29 TADA Munehiro JPN 85:55

Middle Men

01 TERVALA Mika FIN 50.21
95 TADA Munehiro JPN 81.11

LongB決勝 Men B

01 TRNOVEC Matu SLO 80.04
19 TADA Munehiro JPN 97.43

Relay

日本Aチーム: 堀江-樋口-多田
正式: 18位/20国
全体: 24位/33チーム

(各国2チーム出場、
同国内の上位のチームにのみ順位が付く)

筑波杯は4年生が制す

8月4日に静岡県丸火公園で第29回筑波杯が開催され、筑波杯は男女とも4年生の大杉祥二くん(工基礎04年)、千葉妙さん(自然04年)が獲得しました。OB杯は小泉成行さん(自然98年)が獲得しました。

MF・WFは残念ながら競技不成立のトラブルがあり、参考記録になりました。

翌5日に開催された常陸野杯は現役4年の04年入学チームがOBチームをかわし優勝しました。

筑波杯ME(は現役)

01 小泉 1:22:08	09 多田野 2:19:57
02 篠原 1:29:53	10 神谷 2:25:02
03 大杉 1:43:05	11 石松 2:25:39
04 佐々木 1:44:45	12 赤塚 3:05:52
05 川添 1:52:29	13 稲葉 3:32:29
06 下嶋 1:57:29	-- 小倉 DISQ
07 増田 2:01:20	
08 並木 2:07:20	

筑波杯WE

01 千葉 1:09:50
02 稲葉 1:16:56
03 坂岡 1:27:51
04 波多野 1:39:52
05 豊田 1:42:28
06 白形 1:59:00
07 常住 2:31:49

今回の筑波杯を終えて、思った事、いろいろあります。もちろん嬉しいという気持ちも、でも単純に喜んでもいられないという気持ちも。

有力候補の不在や故障、またこのテレインでの経験の差など自分に有利な条件はいつもあった訳で、しかしそれで勝ってしまっただけなのか?という思いもあります。周りにもう少し頑張っ欲しいなあ等と偉そうな事を考えたりも、自分自身も上位のOBとの差を見るとまだまだだと感じます。

この場を借りて運営者の方々に御礼を申し上げたいと思います。特別表彰がいろいろあり、面白かったと思います。しかし残念ながらFクラスでミス設置がありました。去年の不成立に引き続き今年も起こってしまいました。来年は私たちが筑波杯を運営する事になりますが決してそのような事が起こらない様に注意したいと思います。

また近年OB・OGの参加が少なくなっている様に感じます。お忙しい、遠いなど色々事情があるとは思いますがぜひ積極的に御参加下さいませ、お願い致します。また今後も愛好会、愛好会員への支援、指導をよろしくお願い致します。



大杉祥二くん



千葉 妙さん

4年生にしてやっと筑波杯を取ることが出来て嬉しいです。最近、1つ1つのレースの準備をきちんとするようになっていたので、その結果が出たのかもしれない。

でも、これはまだ通過点ではないと思っています。インカレでどこまで頂上に近づけるか、卒業研究や大会運営などのために競技にかける時間は限られてしまっていますが、そんな状況は愛好会の同期も同じ。自分よりももっと忙しそうにしている人もいます。他大学の4年生達も頑張っています。彼らの努力に感化されつつ、自分なりの精一杯の挑戦をしていきたいです。

筑波杯MF (参考)

- 1 日暮 1:19:09
- 2 岡田 2:00:01

筑波杯WF (参考)

- 1 山本 0:58:37

常陸野杯

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 4年本気チーム(04年) | 並木- 千葉- 大杉 |
| 2 山形戦車(98,01年) | 武政-小泉-多田野 |
| 3 4年それなりにチーム(04年) | 赤塚- 豊田- 稲葉 |
| 4 3年生選抜(05年) | 稲葉- 白方- 小倉 |
| 5 チーム今坂(07年) | 岡田- 山本- 日暮 |
| 6 チームガッツ(06年) | 石松- 常住- 下嶋 |
| 7 かじきまぐろ(03-06年) | 岩田- 坂岡- 湯山 |

南半球でJWOC 愛好会2選手敢闘

7月7-12日にオーストラリアで開催されたジュニア世界選手権(JWOC)に白形由貴選手(資源05年)と神谷泰介選手(06年入学)が出場しました。2人とも初めての海外遠征。同年代の多くの仲間たちと刺激的な経験をしてきたようです。2人からコメントをいただいたので紹介します。

**白形由貴さん(資源05年)のコメント**

筑波大学生物資源学類3年の白形由貴です。オーストラリアのDubboで開催された、JWOC'07に出場してきました。成績はスプリント84位、ロング88位、ミドルは27位で予選落ち、リレーでは中国にくらいついていけず敗北、と見るところも無い成績しか残せず、世界との差を実感して帰ってきました。

しかし、オーストラリアという、日本とは性質の異なるトレインでオリエンテーリングをした経験は、とても貴重なものでした。もっとオリエンテーリングがしたい、そう思えました。また海外でオリエンテーリングが出来るよう、鍛錬していきたいと思います。最後になりましたが、援助、ご支援くださった皆様ありがとうございました！

神谷泰介さん(06年入学)のコメント

筑波大学2年の神谷泰介です。8月にオーストラリアで開かれたJWOCに参加してきました。結果は最も狙っていたスプリントで力を発揮できなかったですが、ロングでは運にも恵まれて自分でも満足いく走りができました。つづくミドルとリレーでもスピードのあるオリエンテーリングが出来ていたと思います。海外でのレースは勿論初めてで緊張や不安はあったのですが、日本にはない岩だらけのトレインや外国人選手の走りを近くで見ることで刺激を受け、期間中はレースすることが毎日とても楽しみでした。この貴重な経験を活かしてこれからもトレーニングを続け、もう一度世界の舞台に立てよう努力したいと思います。たくさんのご声援ありがとうございました。



2007年 JWOCの結果

SPRINT**M20**

- 001 Vojtech KRAL 13.59
- 002 Olav LUNDANES 14.05
- 003 Ivan SIRAKOV 14.23
- 104 Taisuke KAMIYA 19.25

W20

- 01 Eva SVENSSON 13.19
- 02 Sarka SVOBODNA 13.20
- 03 Maja ALM 13.23
- 84 Yuki SHIRAKATA 22.08

LONG**M20**

- 01 Olav LUNDANES 71.30
- 02 Magne DAHLI 74.05
- 03 Christian BOBACH 75.31
- 90 Taisuke KAMIYA 103.46

W20

- 01 Siri ULVESTAD 60.47
- 02 K.H STEIWER 61.13
- 03 Heini SAARIMAKI 61.48
- 88 Yuki SHIRAKATA 168.04

MIDDLE予選**M20-A**

- 01 Timo SILD 23.15
- 02 Vilius ALELIUNAS 23.25
- 03 Martin HUBMANN 23.57
- 20 D.P GORDILLO 27.16
- 40 Taisuke KAMIYA 41.08

W20-C

- 01 I.M BJORGUL 25.02
- 02 Vanessa Round 25.35
- 03 Lizzie INGHAM 26.09
- 20 Judith WYDER 32.30
- 27 Yuki SHIRAKATA 45.38

RERAY**M20**

- 01 チェコ 129:47
- 02 ノルウェー 130:57
- 03 ラトビア 134:40
- 24 日本 199:40
(神谷-久米-小見山)

W20

- 01 ノルウェー 101:49
- 02 スウェーデン 101:49
- 03 スイス 103:05
- 19 日本? 175:22
(根本-高野-白形)

予選は20位まで通過

インカレへ向けて

今年もインカレが近づいてきました。11月11日に日光にてインカレロングが開催されます。3月のインカレは奈良です。インカレロングに向けて、現役代表の稲葉茜さん(自然4年)からメッセージをいただきました。

「今年度のインカレロングは、合宿や練習会で何度も足を運んでいる日光で開催されます。去年は悔しい思いをした人が多かったです。その分今年は、春先から着実に準備を積み重ねてきています。4年生にとっては最後のインカレロング。今年こそは、と燃えています。2、3年生は去年よりも高い目標に向かって頑張っていますし、1年生は少しでもオリエンテーリングが上手になりたい、と大会や地図読みにも積極的に参加して、上級生を刺激しています。

11月11日、私たちはそれぞれの目標に向かって、日光の林の中を一生懸命駆け抜けます。きっと先輩たちをワクワクさせるような走りができると思います。応援よろしく願います。」



稲葉 茜さん

OB・OG総会 筑波大大会会場にて開催

10月21日(日)に東京都葛飾区で開催される第30回筑波大大会の会場にて2007年度OB・OG総会を開催いたします。皆様ふるってご参加ください。

記

日時:2007年10月21日(日) 午後1時半頃(予定)

会場:東京都葛飾区 東水元小学校

議題:2006年度 決算報告、2007年度 予算承認、役員改選

以上

関東リレー、OB・OGチーム募集

毎年冬の恒例行事、関東リレーが来年2月10日に開催されます。関東リレーでは各大学のOB・OG対抗リレーが開催されています。筑波大学OBはこれまで5戦4勝の好成績を収めています。また昨年はOG(友情との合同チーム)も優勝しました。今年も多数のOB・OGチームの参加を募ります。関東リレーの大会情報はジェネシスマッピングウェブサイトやorientteering.comなどをご覧ください。

リレー参加希望の方は小泉(連絡先は下記参照)までご連絡ください。チームを組んでの参加も、選抜チームへの希望も、チーム幹旋希望もすべて受け付けます。皆様のご参加をお待ちしております。

OB・OG会 賛同金募集

OB会の活動は、会員のみなさまからの賛同金により運営しております。みなさまのご協力をお願い申し上げます。賛同金をいただいた皆様にはOB・OG会名簿と会報誌「こむこむ」の郵送サービスを行っております。

賛同金1,000円/年 (会員同士が結婚した場合は、原則として1人分のみを納めていただきます。)

<納入方法>

(1)郵便口座への振りこみ

口座番号:00130-4-112794 加入者名:筑波大OB愛好会

通信欄にお名前・入学年度をご記入下さい。

(2)大会等でも随時受け付けます。

お近くのOB会役員(小泉、立川、高野、杉崎)にお気軽に声をかけてください。

(3)その他お支払方法については随時ご相談ください。

編集後記

2007年度でひとまず今期役員の任期が切れます。この2年間で少なくとも情報発信という面では一定の評価をいただきました。また現役生や日本のトップで活躍するOB・OGの生の声をみなさまにお届けすることもできたと思います。次期役員には、より一層のコンテンツの充実と、名簿作成・発送や交流会などマンパワーの必要な運営の改善が求められます。ぜひみなさまのご支援と応援をよろしくお願いいたします。

世話人代表:小泉

お問合せ先:筑波大学オリエンテーリング愛好会に参加した人たちの会

〒270-0164 千葉県流山市流山5-2-301 小泉成行気付

電話:04-7150-1844(留守電あり) E-MAIL:comcom.tsukuba@gmail.com